

6. 地方からの便り

「みんなのちから火の用心」

群馬県 高崎市等広域消防局

高崎市等広域幼年消防クラブは、幼年時に消防研修を行い、火に対する正しい躰を身に付けさせ、園及び各家庭から火災の減少を図ると共に将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地を涵養することを目的とし、昭和59年8月1日に結成されました。

現在は、42園が加入し、クラブ員数は4,588名となっています。

結成から20周年を迎えた平成16年11月17日に、高崎市浜川体育館において「みんなのちから火の用心」をテーマに高崎市等広域幼年消防クラブ20周年記念大会を実施しました。この大会には、1,000名以上のクラブ員が参加し、群馬県幼年少年婦人防火委員会の会長をはじめ、大勢の来賓の方々に出席をいただき盛大に行われました。

大会は、午前9時に高崎市等広域消防局消防音楽隊の演奏にあわせて、法被に身を包んだクラブ員がまとい、拍子木等を持っての入場行進から始まりました。

来賓者の挨拶、そして特別救助隊のデモンストレーションでは、天井からロープでの懸垂降下。会場からは大声援があがりました。

また、「お礼のことば」では、消防隊員の活動に感謝の気持ちを込めて、代表のクラブ員2名が作文を披露しました。そして、会場の四箇所に設けられたくす玉割り。「火の用心」を願って力強く引っ張りました。

活動発表では、防火リズム体操として、以前、天野式リトミック講師である永倉栄子先生に振り付けを依頼し作って頂いた「火の用心のうた」を日曜日から土曜日までクラブ員が音楽に合わせて元気よく踊り、会場をわかせました。

また、代表4園の空手演技、鼓笛隊演奏及び和太鼓演奏など今までの練習の成果を思いっきり披露し、来賓者の皆様方から大きな拍手を頂きました。

「みんなで歌おう」では、消防音楽隊の演奏にあわせ、クラブ員の大好きな曲を大きな声で歌いました。

また、女性消防官と消ちゃんによる防火腹話術、そして最後は「幼年消防クラブ防火のちかい」をクラブ員全員で復唱し防火を再認識し閉会となりました。

あっという間の3時間でしたが、クラブ員全員が一丸となり、当クラブの目的である幼年期からの防火意識の育成が図られたのではないかと思います。





▲ このページの上に戻る

大阪府防火クラブ大会

大阪府 大阪府総務部危機管理室

婦人防火クラブ等の民間防火組織の相互交流並びに拡充強化を図ることを目的に毎年開いている「大阪府防火クラブ大会」を、530名の参加を得て平成17年2月4日（金）に開催しました。

式典では、大阪府児童・生徒防火図画応募作品約1万6千2百点の中から選ばれた12名入賞者の皆さんと、続いて婦人防火クラブ活動に著しい功績があり他の模範となったクラブ1団体、クラブ員14名の方々が表彰を受けました。

続いて、幼年消防クラブと婦人防火クラブの代表者3人で力を合わせ、「クラブ活動を通じて"防火の輪"を一層広げ、火災のない明るい大阪のまちをつくります。」と、決意も新たに防火の誓いを述べました。

また、会場ロビーでは、大阪府児童・生徒防火図画応募作品の入賞および入選作品70点の展示を行いました。来場者の多くがこれら作品の前で足を止め、これからの安全なまちづくりを担う子ども達の力作に、防火への強い願いが込められていることを確認しました。

このあと引き続き、「大阪府防災講演会」が開催され、人と防災未来センター専任研究員 永松伸吾 氏から「阪神・淡路大震災、新潟県中越地震から学ぶこと」と題して講演いただきました。

講演のあと、参加者は、「誰もが安心してらせるまち 大阪」の実現を目指して、今後もそれぞれの地域で防火・防災活動に力を注ぐことをお互い確認し合い、平成16年度大阪府防火クラブ大会、講演会の幕を閉じました。



一日消防士研修会の開催

兵庫県 小野市消防本部

小野市消防本部では、春の火災予防運動の一環として、3月3日に一日消防士研修会を兵庫県立広域防災センターで開催し、小野市防火協会加入の19事業所から28名が参加し、消火訓練や煙中避難訓練を実施しました。

特に濃煙熱気室を使用した避難訓練では、「本当に煙の怖さが分かった。」といった声上がるほど意欲的に取り組みました。



参加者



講義



消火器取扱い



屋内消火訓練



煙中避難訓練



起震車体験

女性防火クラブ員が福祉施設を訪問

愛知県 豊川市消防本部

春の全国火災予防運動実施中の3月4日（金）、豊川宝飯女性防火クラブ員17名が防火広報を兼ねて市内の老人保健施設に訪問しました。

訪問内容は、クラブ員による日本舞踊や盆踊りなどの披露です。当初はどんなことをするのか静かに見守っていた人たちが多く、また、クラブ員も固さが見られましたが、訪問後半には、互いに「一緒に踊りましょう」と声をかけあうなど、盛会のうちに終了しました。



[▲このページの上に戻る](#)

防災マップを八戸駅に掲示！

青森県 八戸広域消防本部

一番町少年消防クラブは4月9日、避難経路や消火設備等の設置場所を明示した防災マップをJR八戸駅改札口正面に掲示しました。

同クラブは、昭和52年4月1日に設立し、平成9年には優良少年消防クラブとして消防長長官表彰を受賞した伝統あるクラブ。

メンバーは、八戸市立西園小学校の児童15人で、この防災マップは、同クラブ員が八戸駅の安全性をPRしようと、自分たちが実際に駅構内を歩いて調べ、八戸消防署尻内分遣所の協力も得て、約2ヶ月かけて製作したもの。大きさは縦2.6メートル、横3.6メートルの堂々たる大きさで、駅構内の案内図に消火器や消火栓の設置場所のほか、避難所や消防署、駅前交番の位置も記した。

掲示にあたって、同クラブリーダーが駅長に『八戸駅防災マップを掲示します！』と力強く宣言。その後、駅構内を往来する人達に防火チラシを配布し火災予防を訴えました。



[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 「住宅用火災警報器PRハンドブック」等を活用した住宅防火の推進について](#)
- [2. 婦人防火クラブ員救急講習会—AED\(自動体外式除細動器\)使用法を学ぶ—](#)
- [3. 「愛・地球博」出演に向けて—愛知県女性消防クラブ連絡協議会が交流研修—](#)
- [4. 道府県婦人防火クラブ連絡協議会 会長だより](#)
- [5. 熊本県婦人防火クラブ連合会 新会長紹介](#)
6. 地方からの便り
- [7. あなたも危険物取扱者・消防設備士](#)
- [8. 日本防火協会からのお知らせ](#)